

## 主題：神の奥義の執事

メッセージ 24

### キリストの配偶者としての召会——エバの予表（1）

聖書：創 2:18-24. エペソ 5:23-32

- I. 予表において、旧約おける特定の女たちが啓示しているのは、召会がキリストの配偶者であるということです——創24:67. 41:45. ルツ4:13. サムエル上25:40-42：
- A. 予表によれば、神の御前での召会の立場は、配偶者の立場です。全聖書において、神はご自身を男にたとえています。また彼はご自身が創造され、贖われた民の総合計をご自身の配偶者としての女にたとえています——イザヤ 54:5. ヨハネ 3:29. 啓 19:7-9. 21:2, 9-10。
  - B. キリストのからだとして、召会はキリストの命を受けて、彼を表現します。キリストの配偶者として、召会はキリストの愛を受けて、彼の心の願いを満たします——エペソ 1:22-23. 5:30. ヨハネ 3:15-16, 29。
  - C. キリストの配偶者としての召会は、愛の中の満足と安息を表徴します——エペソ 5:25. ゼパニヤ 3:17。
  - D. 神は人が独りでいるのは良くないと言った時、彼が示していたのは、神ご自身は絶対に、永遠に完全であるにもかかわらず、不完全であり、彼が独りでいるのは良くないということでした——創 2:18。
  - E. 神はご自身の御子であるキリストのために配偶者を見いだすことを切望しています。この配偶者は、キリストに符号する召会、すなわちキリストの花嫁です——マタイ 22:2。
  - F. 聖書における最初の夫婦であるアダムとエバは、キリストと召会の意義深い、完全な絵を提示します。予表において、創世記第2章においてアダムに起こることは何であれ、キリストの経験であり、エバに起こることは何であれ、召会と関係があります。
  - G. キリストが光と命であるのは、彼によって照らされる者たち、また彼を命として受け入れる者たちが、彼の配偶者としての召会となるためです—— 1:3; 2:9, 22-23。
- II. 創世記第2章において、アダムはキリストの予表です。神がアダムの中で持っていた目的は何であれ、彼がアダムの中で行なった働きは何であれ、キリストの中で、またキリストを通して遂行されました——ローマ5:14：
- A. 神の創造の中心として、アダムは神の創造の実際を中心としてのキリストの予表です。なぜなら、彼の中で、彼を通して、彼へと万物は創造されたからです——コロサイ 1:16-17。
  - B. 神の創造のかしらとして、アダムは神の全被造物のかしらとしてのキリストを予表します—— 15 節。
  - C. アダムは神のかたちに、神の姿にしたがって創造されました。このことが予表するのは、キリストが神のかたち、姿を帯びている方であるということです—— 15 節、ヘブル 1:3。

- D. アダムは、神の代理となって地上で神の権威を執行し、彼のために支配するために創造されましたが、神の代理としてのキリストを予表します——啓 11:15。
- E. すべての人のかしらとして、アダムは団体的に召会のかしら、また個人的に信者たちのかしらとしてのキリストを予表します——エペソ 1:22-23. I コリント 11:3。
- F. その時の神の創造における唯一の男として、アダムは、宇宙において唯一の男となった神であるキリストを予表します。キリストはわたしたちの追求の唯一の対象であり、わたしたちは永遠に彼のものです——マルコ 12:30. ローマ 14:8。
- G. アダムが彼の配偶者としての妻を必要としたことは、キリストが彼の配偶者としての召会を得る必要があることを予表します——エペソ 5:25, 27. 啓 19:7-9. 21:2, 9-10。
- H. アダムが予表するのは、実際の、宇宙的な夫であるキリストにある神であり、彼はご自身のために妻を捜しています——ヨハネ 3:29。
- I. アダムは被造物の間で彼に符合する配偶者を見いだしませんでした。これが予表するのは、神の被造物の間のどんなものもキリストの配偶者としてキリストと符号することはできないということです。なぜなら、何もキリストから出ず、何もキリストと同じ命、性質、性格を持っておらず、彼に対して完全には符号しなかったです——創 2:18-20。
- J. 神はアダムを深い眠りに陥りさせ、彼の脇腹を開きました。これは、キリストが死の中で眠り、脇腹を刺されたことの予表です—— 21 節。
- K. アダムから取られたあばら骨は、ヨハネ第 19 章 34 節と 36 節において述べられている流れる水と、砕かれない骨を表徴します。

**III. キリストの配偶としての召会は、アダムの配偶者としてのエバによって予表されます——創2:21-24. エペソ5:23-32:**

- A. エバはアダムから取り出されたあばら骨をもって、神によって建造されました。このように彼女がアダムから出てくることが予表するのは、召会がキリストから流れ出る命によって生み出されるということです——創 2:21-22。
- B. アダムと同じ命、性質、性格を持っていることにおいて、エバはキリストと同じ命、性質、性格を持っている召会の予表です——コロサイ 3:4, 11。
- C. エバはアダムから出てきて、アダムと結合してアダムと一つの肉体となりました。これは召会がキリストから出てきて、キリストと結合し、キリストと一つ霊となることの予表です——創 2:22-24. I コリント 6:17。
- D. エバはアダムの配偶者として、アダムの体の一部でした。これは召会がキリストの配偶者として、キリストのからだであることを予表します。召会はキリストのからだとして、キリストの配偶者であり、キリストと完全に符号し、補完します——エペソ 1:22-23. 5:30, 32:
  - 1. エバはアダムの複製であり、複写でした。これは、召会がキリストの複製、キリストの複写であることを表徴します——ヨハネ 3:6. 12:24。
  - 2. エバがアダムの増殖、増し加わり、豊満、表現であったように、召会はキリストの配偶者として、キリストの増殖、増し加わり、豊満、表現です—— 24 節、3:3-6,

15-16, 29-30. エペソ 1:23. 3:21。

- E. 究極的に、エバはアダムの配偶者として、宇宙的な花嫁である新エルサレムを予表します。新エルサレムは、各世代にわたる聖徒たちから構成されています。彼らは神によって選ばれ、贖われ、再生され、造り換えられ、栄光化され、千年王国においてキリストの花嫁、また小羊の妻となって、永遠にわたって、愛の中で彼の満足と安息となります——啓 21:2, 9-10。

© 2010 *Living Stream Ministry*